

[HOME](#) > [AORI News](#) > [研究集会](#) > [2015年](#) > 海洋変動と熱・物質循環

海洋変動と熱・物質循環

更新日: 2015年08月04日

東京大学大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター 共同利用研究集会

日 時: 平成27年9月8日(火)10:00~17:30
9月9日(水) 9:00~12:00

場 所: 大槌町中央公民館(岩手県上閉伊郡大槌町小槌第32地割金崎126)

共 催: 岩手県大槌町

研究代表者: 豊田 隆寛(気象庁 気象研究所)、田中 潔(東京大学 大気海洋研究所)

TEL 029-853-8661 FAX 029-855-1439 E-MAIL ttoyoda@mri-jma.go.jp

メールアドレスの「◎」は「@」に変換して下さい

プログラム

(*: 招待講演)

9月8日(火)

Session 1 混合層・モード水 <座長: 田中 潔(東大 大海研)>

10:00-10:25 中村 直希(東北大 院 理学研究科 M2)*

北太平洋におけるモード水の時空間変動

10:25-10:50 杉本 周作(東北大 学際研)*

東経155度定線観測データにみられる移行域モード水の10年規模変動特性

10:50-11:15 山口 凌平(東北大 院 理学研究科 M2)*

北太平洋における夏季表層成層強度と冬季混合層深度との関係

11:15-11:40 木村 覚志(東北大 院 理学研究科 M1)*

冬季黒潮続流上における楔形低圧部の経年変動とその要因

11:40-12:00 豊田 隆寛(気象庁 気象研 海洋・地球化学研究部)

北太平洋冬季混合層深の経年から十年規模変動

及び事務連絡

Session 2 沿岸・現業 <座長: 柏井 誠(水産海洋研究工房『親潮屋』)>

12:50-13:15 坂本 天(東大 大海研)*

大槌湾の数値モデリングII

13:15-13:40 中村 寛(気象庁 仙台管区気象台)*

沿岸水温予測技術について

13:40-14:05 広瀬 成章(気象庁 気象研 海洋・地球化学研究部)*

4次元変分法海洋再解析(FORA)の紹介と性能評価

Session 3 水塊輸送・混合・栄養塩供給 <座長: 豊田 隆寛(気象庁 気象研)>

14:15-14:40 植原 量行(東海大 海洋学部 海洋地球科学科)・岡 英太郎(東大 大海研)・鋤柄 千穂(名大 地球水循環研)*
KH14-1冬季混合層の乱流エネルギー散逸率の変動

14:40-15:05 村井 優太(東北大 院 理学研究科 M1)*
中規模渦による北太平洋中央モード水の移動の定量化

15:05-15:30 松村 義正(北大 低温研)*
オンライン粒子追跡による堆積物浮上・輸送モデル

15:30-15:55 加藤 彩愛(東海大 院 海洋学研究科 M2)・植原 量行(東海大 海洋学部 海洋地球科学科)・鋤柄 千穂(名大 地球水循環研)・笹井 義一(JAMSTEC RCGC)*
台湾東方沖における低気圧性渦の栄養塩動態

Session 4 亜寒帯水・ジャイア間輸送 <座長:松村 義正(北大 低温研)>

16:05-16:30 美山 透(JAMSTEC アプリケーションラボ)*
なぜ北海道東方準定常ジェット(フロント)/磯口ジェットが存在するのか?

16:30-16:55 柏井 誠(水産海洋研究工房『親潮屋』)*
オホーツク海中層水形成における深層水の寄与
ー水塊特性の季節サイクルの駆動要因解析による診断ー

16:55-17:20 藤井 陽介(気象庁 気象研 海洋・地球化学研究部)*
アジョイントモデルを利用した黒潮からベーリング海に至る水塊の移動経路の解析

After session

17:20-17:30 総合討論(+後片付け)

18:30- 海洋パート懇親会(さんずる屋)

9月9日(水)

Session 5 衛星・定線データ <座長:杉本 周作(東北大 学際研)>

9:00-9:25 松野 哲季(東海大 院 海洋学研究科 M2)・植原 量行(東海大 海洋学部 海洋地球科学科)*
全球海面水温場の時間変動特性

9:25-9:50 中井 崇人(東北大 院 理学研究科 M1)*
中規模渦による北太平洋回帰線水の分布構造の経年変動

9:50-10:15 井上 博敬(気象庁 地球環境・海洋部)*
気象庁137度定線における北太平洋中央水の低塩化の理解

10:15-10:40 岡 英太郎(東大 大海研)*
ハワイの北の風がコントロールする、沖縄の海の酸性化

After session

10:40-12:00 総合討論(+写真撮影、後片付け)、国際沿岸海洋研究センター見学